

桐生繊維業界の実態

平成11年1月～12月

桐生市繊維振興協会

桐生市繊維業界の概況

平成11年12月末現在

1.	調査対象団体数	17団体（桐生商工会議所繊維部会除く）	
2.	産地収入	(1) 生産高	285億2,316万円
		(2) 加工収入高	36億9,563万円
		(3) 販売高	103億3,000万円
		計	425億4,879万円
		※退会組合の収入(前年対比90%)	48億1,624万円
	計	473億6,503万円（前年対比(%) 90)	
3.	総組合員数（事業所）	606事業所	
4.	総従業員数（家族従業員含む）	4,054人	
5.	一事業所当り従業員数	6.7人	
6.	一事業所当り生産販売加工高	7,021万円	
7.	年度別産地収入高		
	昭和54年産地収入	1,078億	1,166万円
	“ 55年	1,170億	6,380万円（前年対比(%) 109）
	“ 56年	1,110億	8,757万円（ 95）
	“ 57年	1,083億	3,093万円（ 98）
	“ 58年	1,023億	634万円（ 94）
	“ 59年	976億	1,960万円（ 95）
	“ 60年	917億	1,760万円（ 94）
	“ 61年	853億	4,182万円（ 93）
	“ 62年	804億	5,848万円（ 94）
	“ 63年	783億	8,548万円（ 97）
	平成元年	841億	7,076万円（ 107）
	“ 2年	931億	1,687万円（ 111）
	“ 3年	908億	7,740万円（ 98）
	“ 4年	1,001億	1,232万円（ 110）
	“ 5年	893億	2,611万円（ 89）
	“ 6年	845億	3,438万円（ 95）
	“ 7年	733億	6,672万円（ 87）
	“ 8年	678億	3,478万円（ 92）
	“ 9年	616億	9,017万円（ 91）
	“ 10年	528億	4,669万円（ 86）

※ 本調査は、桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に作成しております。

なお、団体の加盟及び脱会により調査の対象が変わるため、前年対比は参考数字とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. 組合員数及び従業員数

所 属 団 体		組合員数 事業所	従 業 員 数				計	従 業 員 平均年齢
			従 業 員		家 族 従 業 員			
			男 性	女 性	男 性	女 性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	154	213 ^人	216 ^人	138 ^人	307 ^人	874 ^人	54 ^歳
	内地協議会	123	290	471	120	117	998	57
桐生織物産地元売組合		9	13	5	8	6	32	45
桐生染色協同組合		26	186	28	13	12	239	50
桐生繊維製品協同組合		48	225	618	15	24	882	41
桐生糸商組合		17	34	19	16	11	80	45
東日本編レース工業組合		17	38	22	25	19	104	46
桐生撚糸工業組合		19	2	20	23	22	67	60
桐生織物整経協同組合		22	3	7	24	18	52	62
桐生意匠協同組合		16	7	5	2	8	22	43
桐生紋紙協同組合		14	17	2	16	16	51	53
東毛ジャカード刺繍協同組合		10	17	27	11	20	75	43
桐生刺繍商工業協同組合		52	108	162	87	84	441	52
桐生織物買継商友会		18	4	2	21	16	43	54
シルク・ルネッサンス桐生		(8)
桐生テキスタイル商業グループ		7	20	15	0	0	35	41
桐生織伝統工芸士会		(42)
桐生和服裁縫組合		54		55	1	3	59	
計		606	1,177	1,674	520	683	4,054	-

- 注 (1) 平成 7年1月13日群馬県綿スフ織物(有)解散し退会。
 (2) 平成 7年5月17日桐生織伝統工芸士会 入会。
 (3) 平成10年3月31日両毛輸出織物整染(有)解散し退会。
 平成10年3月31日両毛輸出スカーフ組合解散し退会。
 平成10年3月31日桐生織物商業組合解散し退会。
 (4) 平成10年4月 1日桐生和服裁縫組合 入会。
 (5) 平成11年3月31日桐生金銀糸協同組合解散し退会。

※ シルク・ルネッサンス桐生、桐生織伝統工芸士会は、他の組合と重複しているため計算に含まず。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

所 属 団 体	生 産 高 (万円)	加 工 高 (万円)	計 (万円)	前 対 年 比 (%)	取引先区分(%)		
					県 内	県 外	
桐生織物協同組合	広幅協議会	615,407	57,956	673,363	86	0	100
	内地協議会	506,519		506,519	93	0	100
桐 生 染 色 協 同 組 合		133,445	133,445	88	56	44	
桐 生 織 維 製 品 協 同 組 合	1,056,326	45,445	1,101,771	85	0	100	
桐 生 刺 繍 商 工 業 協 同 組 合	92,830	101,014	193,844	78	2	98	
東 日 本 編 レ ー ス 工 業 組 合	260,000		260,000	87	59	41	
桐 生 撚 糸 工 業 組 合		8,635	8,635	80	55	45	
桐 生 織 物 整 経 協 同 組 合		12,268	12,268	140	100	0	
桐 生 意 匠 協 同 組 合	16,967		16,967	92	82	18	
桐 生 紋 紙 協 同 組 合	19,339		19,339	80	87	13	
東 毛 ジャ カ ー ド 刺 繍 協 同 組 合	54,928		54,928	94	0	100	
桐 生 テ キ ス タ イ ル 商 業 グ ル ー プ	230,000		230,000	115	100	0	
桐 生 和 服 裁 縫 組 合		10,800	10,800	91	85	15	
計	2,852,316	369,563	3,221,879	88	16	84	

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

所 属 団 体	販 売 高 (万円)	前年対比 (%)	取 引 先 区 分 (%)		
			桐生市内	県 内	県 外
桐 生 織 物 産 地 元 売 組 合	151,300	85	3	5	92
桐 生 系 商 組 合	800,000	99	63	8	29
桐 生 織 物 買 継 商 友 会	81,700	80	0	0	100
計	1,033,000	88	49	7	44

4. 内需向、輸出向区分

所属団体	内需向		輸出向		計 (万円)
	金額(万円)	割合(%)	金額(万円)	割合(%)	
桐生織物協同組合 広幅協議会	580,773	86	92,590	14	673,363
桐生染色協同組合	128,774	96	4,671	4	133,445
桐生繊維製品協同組合	1,101,778	100	0	0	1,101,778
桐生刺繍商工業協同組合	193,844	100	0	0	193,844
桐生織物整経協同組合	12,668	100	0	0	12,668
桐生意匠協同組合	16,777	99	190	1	16,967
桐生紋紙協同組合	18,692	97	647	3	19,339
計	2,053,306	95	98,098	5	2,151,404

5. 各団体の取扱品目

所属団体	品目					割合 (%)
	割					
桐生織物協同組合 (広幅協議会)	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他		
	54	32	9	5		
桐生織物協同組合 (内地協議会)	帯地	服地・金襴	服飾工芸品	着尺		
	71	12	10	7		
桐生織物産地元売組合	帯地	着尺	二次製品	服飾工芸	その他	
	70	6	10	6	8	
桐生染色協同組合	合織	レーヨン・ キュプラ等	綿・ウール等	絹		
	52	31	9	8		
桐生繊維製品協同組合	ブラウス	ニット	スーツ	ジャケット	その他	
	69	13	5	3	10	
桐生糸商組合	化合織	レーヨン	綿・スフ	絹	その他	
	56	24	13	5	2	

所属団体	品 目				
	割 合 (%)				
東日本編レース工業組合	インテリア	衣 料	資 材		
	80	13	7		
桐生撚糸工業組合	合 織 撚 糸	人 絹 撚 糸	絹 撚 糸	金 銀 糸	
	68	30	1	1	
桐生織物整経協同組合	整 経				
	100				
桐生意匠協同組合	洋 反	金 蘭	インテリア	帯	そ の 他 (輸 出 含)
	23	32	25	11	9
桐生紋紙協同組合	紋 紙	エンドレス ペーパー	フロッピー (直織式)		
	100				
東毛ジャカード刺繍協同組合	ワ ッ ペ ン	T シ ャ ッ ツ	ト レ ー ナ ー	ワンポイント 刺 繍	そ の 他
	44	34	5	8	9
桐生刺繍商工業協同組合	婚 礼 衣 裳	婚 礼 加 工	ブ ラ ウ ス ニ ッ ト 加 工	ハンカチーフ 加 工	雑 貨
	33	18	22	14	13
桐生織物買継商友会	帯	二 次 製 品	着 尺	そ の 他	
	85	9	4	2	
桐生テキスタイル 商 業 グ ル ー プ	広 幅 服 地				
	100				
桐生和服裁縫組合	きもの全般	長 襦 袢	コ ー ト ・ 羽 織	帯	そ の 他
	45	25	1	28	1

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設備名	数量	所属団体	設備名	数量
桐生織物(株) (内地協議会)	広幅織機	118	桐生撚糸(株)	イタリー式撚糸機	14
	並幅織機	1,030		合織式撚糸機	30
	小幅織機	184		アップツイスター	6
	自動・レピア織機	227		ダブルツイスター	6
	計	1,559		計	56
桐生織物(株) (広幅協議会)	普通織機	1,203	桐生織物整経(株)	整経機	27
	自動織機(片レピア含)	280		ワインダー	1,150
	無杼織機	446		計	1,177
	計	1,929	桐生意匠(株)	デザインシステム	32
桐生染色(株)	常式噴射式染色機	107		拡大機	8
	高圧噴射式染色機	34		コピー機	13
	汎用染色機	42		計	53
	チーズ及びケーキ染色機	69	桐生紋紙(株)	デザインシステム	29
	計	252		カードパンチ	17
桐生繊維製品(株)	縫製ミシン	1,030		横彫カットエンドレス	20
	プレス	43		ワンプンチ	15
	裁断機	52	計	81	
	計	1,125	桐生刺繍商工業(株)	横振りミシン	157
東日本編レース(株)	ラッセル機	104		多頭式刺繍機	731
	計	104	計	888	
東毛ジャカード 刺繍(株)	コンピュータミシン	56			
	プレス	14			
	本縫いミシン及びその他の機械	34			
	計	104			

7. 最近の推移 (11年10月～12年2月)

団体名		品目	受注・引合の状況				販売(加工)単価の状況			
			増	変わらず	下降	前年対比(%)	上昇	変わらず	下降	前年対比(%)
桐生織物協同組合	広幅協議会			○	87		○		100	
	内地協議会			○	93		○		100	
桐生織物産地元売組合			○		105			○	90	
桐生染色協同組合				○	85		○		100	
桐生繊維製品協同組合				○	85			○	85	
桐生糸商組合				○	95			○	97	
東日本編レース工業組合				○	85			○	83	
桐生撚糸工業組合				○	85			○	95	
桐生織物整経協同組合				○	145		○		100	
桐生意匠協同組合				○	85			○	85	
桐生紋紙協同組合				○	80		○		100	
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	95			○	95	
桐生刺繍商工業協同組合				○	78			○	78	
桐生織物買継商友会				○	80			○	80	
桐生テキスタイル 商業グループ			○		120		○		100	
桐生和服裁縫組合				○	80		○		100	
計			3	-	13		-	7	9	

8. 平成11年(1月～12月)の状況、事業概要及び今後の課題

桐生織物協同組合

状況、事業概要

昨年同様、業界の状況に変化はなく、全体的に不況ムードが強い。

金融不安と個人消費の冷え込み等で景気が停滞し、関連取り引き先の倒産等の影響もあって業界全体大きく低迷した一年であった。

長引く国内の不振や輸出織物の不振で先の見えない不安定な状況にあります。

今後の課題

小売業の売場面積は増加しているが、繊維関連の売上は減少傾向にある中、今後、業界として差別化された技術力のさらなる向上、生産性の向上、人件費の削減等を行い、競争力の強化が必要である。

また、QR対応、情報化、流通の見直しを行い、小ロット、短サイクル生産として行く必要がある。

桐生染色協同組合

商品、消費者ニーズの変化について

繊維産業は、川上から川下と言われ分業化が著しい。

染色業界は川中に位置しており、また、委託加工が主力で消費者ニーズを見極めるのは非常に難しい。

前年同様、短サイクルが行い易い後染品、プリント品が主流である。

状況、事業概要

平成11年の労働者の賃上げは、額・率ともに昭和44年の調査開始以来最低に推移した。一方賃金を引き下げる企業もあり個人消費は前年に引き続き低迷している。それに加え、輸入繊維製品は、我が国消費量の75%、1兆8千億円と言われている。これらの理由から当業界でも加工数量金額ともに大幅に減少した。

特に和装用絹糸、輸入品との競合の激しいニット用原糸、並びに輸出向織物に加工される原糸の減少が著しい。

また、企業規模の縮小と後継者難から組合員数も15%減少している。

今後の課題

技能若年労働者の確保、顧客に提案できる商品開発、大量に使用する水、エネルギーの合理的利用、並びにそれ等の使用による環境の問題等、課題は多い。

桐生繊維製品協同組合

商品、消費者ニーズの変化について

デパート及び専門店等も客不足で売上も減少している。

新しい傾向の物については少々売れる程度である。

状況、事業概要

前年同期より、なお下回ったと思われる。

受注も減り、工賃も値下がりし、業界を取り巻く環境は依然厳しいものがある。

今後の課題

我々は、製造直売を指向して進む方向で検討している。

現在のアパレル業界が消費者の低価格商品と高級ブランド商品に対応する厳しい販売を強いられている。

これからも、更なる努力をする以外ないと思う。

桐生織物産地元売組合

商品、消費者のニーズの変化について

呉服の需要は年々落ち込んでいるが、夏まつり用の浴衣については、若い世代に人気があり、低価格のものがよく売れている。

景気低迷の影響から高額商品の需要は低迷している。

状況、事業概要

平成11年は呉服業界に於いて、集産地（京都、東京）の大型倒産が相次ぎ、大不況の状態であった。

当組合員の被害は少なかったが、組合員12社中3社が廃業するなど厳しい状況が続いている。

今後の課題

取引先面については、百貨店、専門店の売上げの低迷、支払いの遅延（売上げ仕入）等の原因により、商社、問屋、産地にそのしわ寄せがきている。

その影響で大型倒産が続いている。取引先条件の抜本的な改善が急務である。

生産面については、桐生にある加工技術（刺繍、縫製、染色等）を生かし、個性ある物づくりが必要となっている。

桐生糸商組合

商品、消費者ニーズの変化について

レギュラー糸については、安価な輸入物が増加し、定着している。

国内糸については、機能素材、強撚、染加工などで変化をもたらした商品展開がされている。

状況、事業概要

長引く景気の低迷、金融不安、消費減退の厳しい環境の続いた年であった。

各業界も前年対比ダウンである。新規需要、新規市場開拓等の事業を実施したがかなり厳しい状況である。

桐生刺繍商工業協同組合

商品、消費者ニーズの変化について

短納期、小ロットに情勢が変化しているため、売上が思ったより伸びないでいます。急速になお進んでいる流通の構造の変革、価格破壊が今だ進んでおります。

付加価値産業の刺繍業が現状についていけない状態です。

状況、事業概要

消費税の引き上げによる消費の低迷と金融不安とで買い控えられており、依然低迷しております。

需要の変動と市場の変化に対応する製品をつくること。

供給者側による供給改善策や技術開発などが課題となるでしょう。

今後の課題

(1) 零細企業が多いため、情報交換、親睦の場としているが、不況が続くため、組合加入者の脱会が続いております。

(2) 技術者の養成等、技術研修を行う。

5年目となります群馬県繊維工業試験場において群馬県中小企業技術者研修（高級刺繍技術課程）を群馬県の協力を得て、講師は当組合の大澤紀代美氏（群馬県技術アドバイザー、卓越技能士）により引き続き開催。

(3) 展示会や宣伝活動（例えば紙上活用）等、積極的に展開する。

(4) 青年部（後継者）の養成、指導。

ジャパクリエーション事業、桐生テキスタイルプロモーションショー事業、FW事業への参加等。（独自の作品を青年部にて作成します）

(5) メーカーとの加工の取り組みを求め、又独自の新製品の開発を努力していく。

東日本編レース工業組合

状況、事業概要

平成11年10月～12月については、7月～9月よりは多少増加傾向にあった。価格はレースカーテンについては厳しい推移である。

12年1月は休日多く低調推移、2月は反動で多少上向いているように見えるが厳しい推移です。

商品についてはレースカーテンは、チェーン・ラッセル機のフレンチレースを中心にブック販売で重量感のある物が良いと言われているが、価格が厳しいために従来調の物が主流をなしている。新柄もでていますが価格が通らないので伸びていない。

ジャカード落下板レースは、超高速機の導入で生産過剰になっており、量販店向きの既成カーテンがほとんど値段が厳しいために、ブック販売の生地売りには少ない。

マフラー関係は、アクリル使いの中級品が主流、垢すりタオルも従来のナイロン糸使いが主流だが、綿・絹の天然繊維を混編した物が増えてきている。

状況、事業概要

市況はレースカーテンについて1月～4月は厳しい中横ばい推移。

5月～9月は（1月～4月）より低調推移で厳しく、10月～12月は多少増加傾向になったが低調な推移と見る。

マフラー、ショール、衣料レース等横ばい推移で、主力のマフラーは前年比10%ダウン他、垢すりタオルは例年より多少厳しい推移であり資材関係も厳しい推移であった。

今後の課題

新製品の開発に努力すること。

レースカーテン地大量生産型からの脱皮。

その他課題は大である。

桐生意匠協同組合

状況、事業概要

桐生産地、他産地ともに受注が減少しているが、企業努力に依り、前年比－15%減程度に収まった。そのうち輸出、帯地の受注減少が目立っている。

事業所も1社減少した。

今後の課題

業界全体の景気上向きを望んでいるが、親企業のますますの努力を願いたい。

今後組合としては、和と団結を図り生き残るための活性化に努力していきたい。

桐生織物買継商友会

商品、消費者ニーズの変化について

和装人口の減少が続くなかで、ゆかた関連の商品のみが期待されている。

状況、事業概要

通信販売等に荷動きが見られるが、他の従来ルートは大きく後退している。

今後の課題

いつもながら、新製品の開発、新規得意の開拓に全力を尽くすことが一番の課題と思う。

桐生テキスタイル商業グループ

商品、消費者ニーズの変化について

昨年が極端に悪かったため、前年比では20%位増加している。

期近の受注は(1.5ヶ月先)は埋まる状態であるが、小ロット期近な引き合いのため厳しい。

状況、事業概要

平成11年1月～3月がどん底状態であったものの、4月～6月秋物より受注が復活し、特に秋物ウール産地物から需要趣旨が合織に変わり当産地にフォローとなった。

昨年4月以降、現在(平成12年2月)まで細かいながらも受注は続いている。

今後の課題

桐生産地に限らず、全国内産地共通の問題点でしょうが

- (1) 情報及び生産技術の全産地共通性と普遍化した中での競合の中、抜き出すための課題が一番大きい問題と思う。
- (2) 流通段階の中、今後のポジションによる介在メリットの確認と対応がそれぞれの個々の特色を創り出す必要性が急務である。
- (3) 産地一丸となってコスト研究と対応努力。

桐生和服裁縫組合

商品、消費者ニーズの変化について

我々の取引先相手である、呉服店のここ2～3年間の変化は著しいものがあります。売上の減少に伴い、呉服品以外の販売(紳士服、バック、宝石等)にも手を広げており少しでも増収を図るために、より仕立代の安価な所へ仕事を廻す傾向にあります。

これらは、各地の和裁所の存続を危うくしている。

状況、事業概要

平成11年は近年になく呉服店の販売不振による極端な受注量の減少、それに加え海外縫製業者、国内の量産事業所による工料のダンピングや営業合戦と我々小規模零細業者はオロオロするばかりである。

和裁新聞によると、ここ4~5年の内には、呉服店の売上が1/2位になるのではないかの予想もでており、先を見通せない我々にとっては、どのようにしたら良いか、不安が増すばかりである。

今後の課題

和裁業界の今後の課題は、とにもかくにも仕事量を安定させることです。

呉服店・問屋の倒産、転業の話ばかりで、ここ2~3年は良い話はあまり聞きません。

「桐生きものの日」には、大勢のきもの着用者が見られますが、それ以外では、ほとんど見られず、正月でもきものを着て挨拶廻りをすると人目を引くしまつである。

現在は、フォーマルきものが主流であるが、普段着を拡めて、気軽にきものを着用していただき、呉服関係者が「きもの人口」増強に心掛けなければならないと思います。

桐生市繊維振興協会加盟団体名簿

(平成12年3月現在)

団 体 名	代 表 者 名	所 在 地	電 話
桐生織物協同組合	佐藤富三	桐生市永楽町5-1	0277-43-2511
桐生商工会議所繊維部会	塚本祐平	〃 錦町3-1-15	0277-45-1201
桐生染色協同組合	塚本祐平	〃 永楽町6-6	0277-22-9661
桐生繊維製品協同組合	関口幸三郎	〃 〃	0277-46-2310
桐生織物産地元売組合	木村俊一	〃 相生町2-230-1	0277-53-5131
桐生糸商組合	川村治朗	〃 仲町3-15-6 川村(株)内	0277-44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	栗原光好	〃 永楽町6-6	0277-22-7919
東日本編レース工業組合	中野隆雄	〃 永楽町6-6	0277-22-3847
桐生撚糸工業組合	田中堯	〃 稲荷町4-29 新井撚糸工場内	0277-44-9431
桐生織物整経協同組合	高久勇雄	〃 境野町6-304 (有)タカク内	0277-45-0851
桐生意匠協同組合	大川作太郎	〃 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生紋紙協同組合	岩崎万雄	足利市山川町538-1 (有)岩崎紋工社内	0284-41-5764
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村千春	桐生市新宿3-7-34	0277-43-1166
桐生織物買継商友会	島崎英三	〃 本町1-3-18 島崎商店内	0277-47-4000
シルク・ルネッサンス桐生	青木軍次	〃 広沢町4-2423-1	0277-54-2584
桐生テキスタイル商業グループ	木島清	〃 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生織伝統工芸士会	新井實	〃 永楽町5-1 桐生織物(協)内	0277-43-2511
桐生和服裁縫組合	萱森一広	〃 旭町201	0277-44-9049

事務局 財団法人桐生地域地場産業振興センター 内

〒376-0024 桐生市織姫町2番5号
TEL(0277)46-1011(代表)
FAX(0277)46-1014